

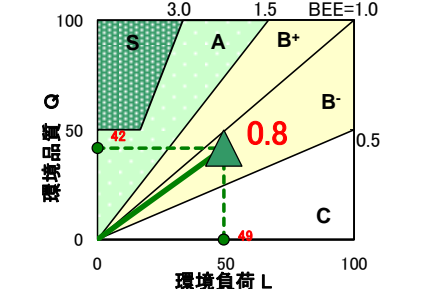
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本酢ビ・ポパール株式会社	階数	地上5F
建設地	大阪府堺市西区築港新町3丁11番地	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	134人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,160時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年11月1日
敷地面積	34,292 m <sup>2</sup>	作成者	竹内 啓二
建築面積	1,183 m <sup>2</sup>	確認日	2018年11月1日
延床面積	5,960 m <sup>2</sup>	確認者	竹内 啓二



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

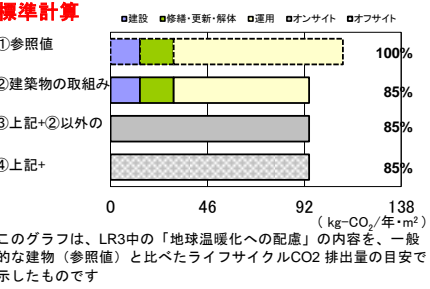
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

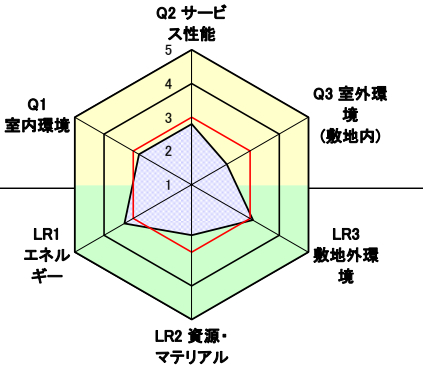
標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

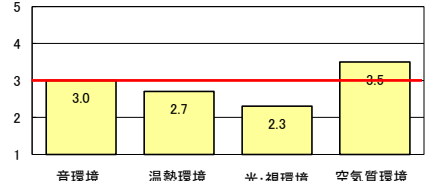


### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

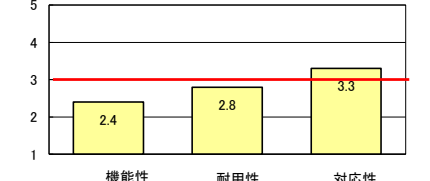
#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8



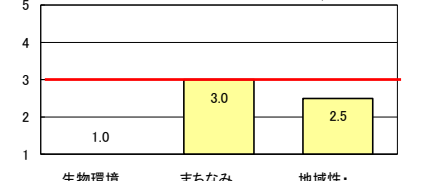
#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8



#### Q3 室外環境(敷地内)

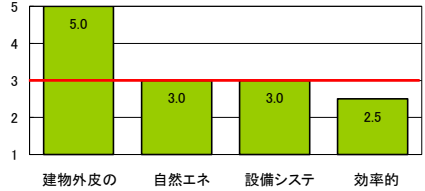
Q3のスコア = 2.2



**LR のスコア = 3.0**

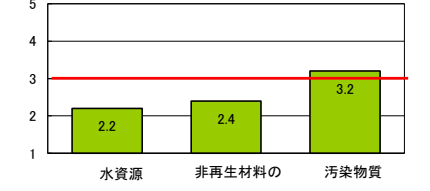
#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3



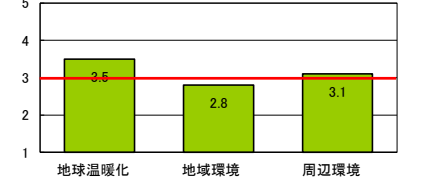
#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5



#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
高い外皮性能、効率の良い設備機器を使用しており、エネルギー消費、環境負荷低減するように設計されている。	0
<b>Q1 室内環境</b> 使用建材は下地、接着剤、塗装等を含め全てF☆☆☆☆を使用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 照明計画と内装計画が一体として計画されるよう取り組んでいる。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物がまちなみや風景にバランスよく調和されており、植栽も行って、景観への配慮もしている。	
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を使用し消費電力の低減に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> GWPが低いグラスウール断熱材を使用している。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 公害対策ガイドラインの一部を満たす取り組みを行っており、広告物照明の設置をしていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)日本酢ビ・ポパール株式会社 本社工場 管理棟 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区築港新町3丁11番地1	0.8	B-
	主用途/延床面積	事務所 / 5,960.34 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
エネルギー削減	3	
建物の断熱性	5	
安全快適な暮らし	3	
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア			
CO <sub>2</sub> 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.5	4
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出 敷地内温熱環境の向上 温熱環境悪化の改善	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	2.0	
	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.0	3
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画 耐震・免震 地域性への配慮、快適性の向上 交通負荷抑制	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	4.0	3
	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	2.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	